使用上のご注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所などで受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できなかったり、不安定な受信状態（ブロックノイズの発生など）になることがあります。
- アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。（ベランダに設置したときに受信できなかったり、不安定な受信状態になるときは屋根上に設置することをおすすめします。）
- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- アンテナはいつも正しい方向に向いているようにご注意ください。
- 屋上、地上設置の場合アンテナマストは、ステーワイヤを用いて3～4方向にしっかり張ってください。ステーワイヤは別売のBW-30S-Bなどをご使用ください。ステーワイヤの固定には支線止め（SH-650など）をお使いください。
- このアンテナではVHF帯（ch.1～12）は受信できません。
- このアンテナに多量な雪が積もった場合、受信不良が起こったり、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。雪はこまめに払い落としてください。その際、安全には十分注意してください。

規格特性

項目	仕様
品名	UHFオールチャンネルアンテナ
品番	UDA-700
受信周波数(MHz)	470～770(ch.13～62)
偏波面	水平または垂直
インピーダンス(Ω)	75(F形)
利得(dB)	5.5～7.3
VSWR	2.5以下
前後比(dB)	12～22
半値幅(°)	44～59
適合マスト径(mm)	φ22～38.1
寸法（高さ×幅×長さ㎜）	132×430×256（水平偏波受信、取付マスト径φ38㎜の場合）
質量(kg)	1.7

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

JEITA デジタルハイビジョン受信マークは、(社)電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

外形寸法図

（単位：mm）

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- ・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)
- ・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)
- ・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)
- ・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)
- ・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)
- ・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)
- ・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)
- ・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)
- ・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)
- ・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)
- ・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)
- ・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)
- ・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)
- ・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)
- ・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)
- ・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)
- ・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)
- ・松本出張所 TEL.(0263)27-7801(代)
- ・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)
- ・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)
- ・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
- ・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
- ・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
- ・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
- ・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
- ・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)
- ・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
- ・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
- ・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
- ・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
- ・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
- ・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
- ・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
- ・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
- ・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
- ・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

（2005年3月現在）

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）　ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

4110
ZG-N-EZ3Ⓡ

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL

地上デジタル放送対応

UHFオールチャンネルアンテナ(ch.13～62)

［水平・垂直共用、出力75Ω（F形座）仕様］

UDA-700

製品の特長

- 新方式アンテナ（※1）採用により従来のアンテナに比べて大幅な小形化と高性能化を実現（※2）。高利得、高前後比、鋭い指向性により妨害波にも強く安定した受信が可能で、ホーム共同受信用としても使用できます。
- 地上デジタル放送対応で、1台のアンテナでUHFのすべてのチャンネルを受信できます。
- 小形で美観にも優れベランダ等に手軽に設置できるほか、屋根の上への取り付けも可能です。
- アンテナ部は耐候性に優れた高品質樹脂ケースでカバーしていますので、耐久性に優れています。

（※1）特許出願中
（※2）JEITAのデジタルハイビジョン受信マーク制度「普及型B」に認定されました。

安全上のご注意

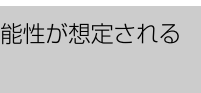
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

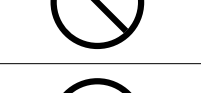
- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

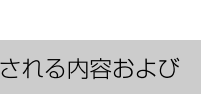
- アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。

- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。

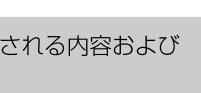
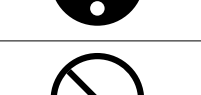
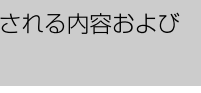
- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
  感電の原因となります。

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

《販売店・工事店様の安全上のご注意――お客様もお読みください》

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。

- 強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。
  落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。

- アンテナの部品や工具類を高い所から落とさないでください。
  けがの原因となります。

- 風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

- 人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。
  人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。

- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所に設置しないでください。
  落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。
  火災の原因となります。

- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。
  落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

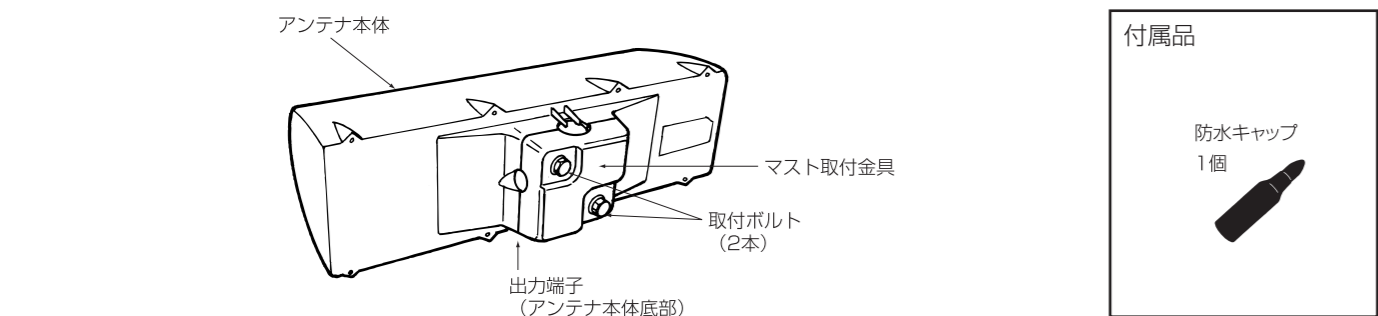
- アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪などで天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根や壁面、ベランダの手すり等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。

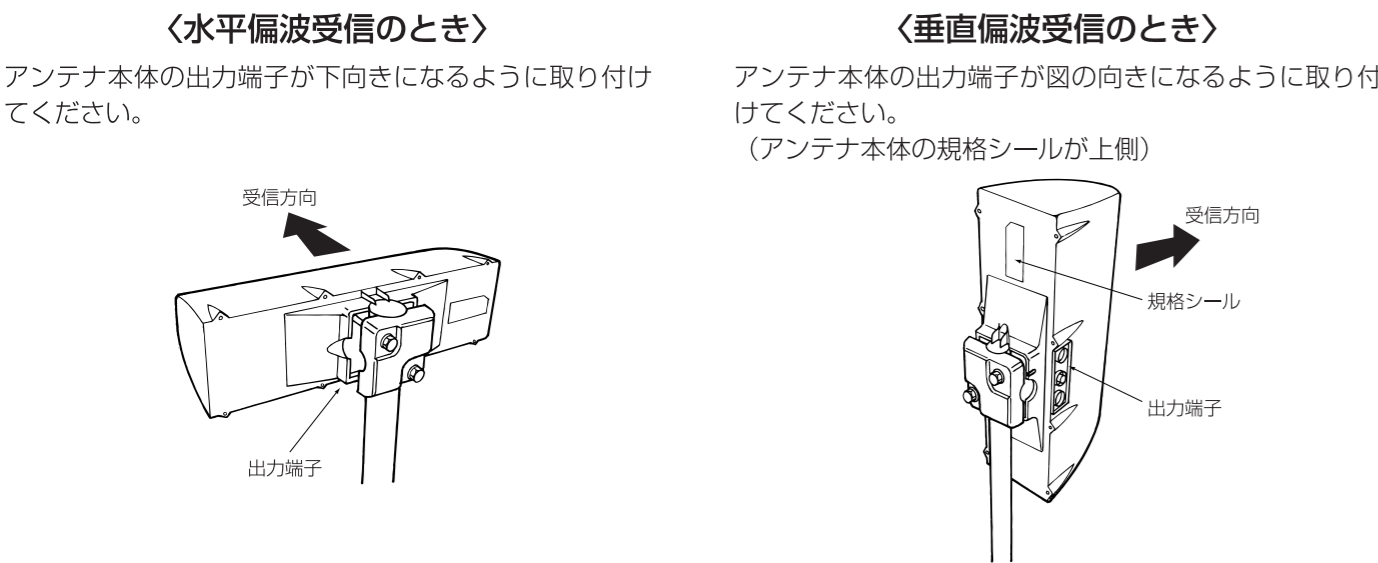
各部の名称

受信偏波とアンテナ取付方向

- 受信する電波の偏波面に合わせてアンテナの取付方向を下図のように変えてください。

〈水平偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けてください。

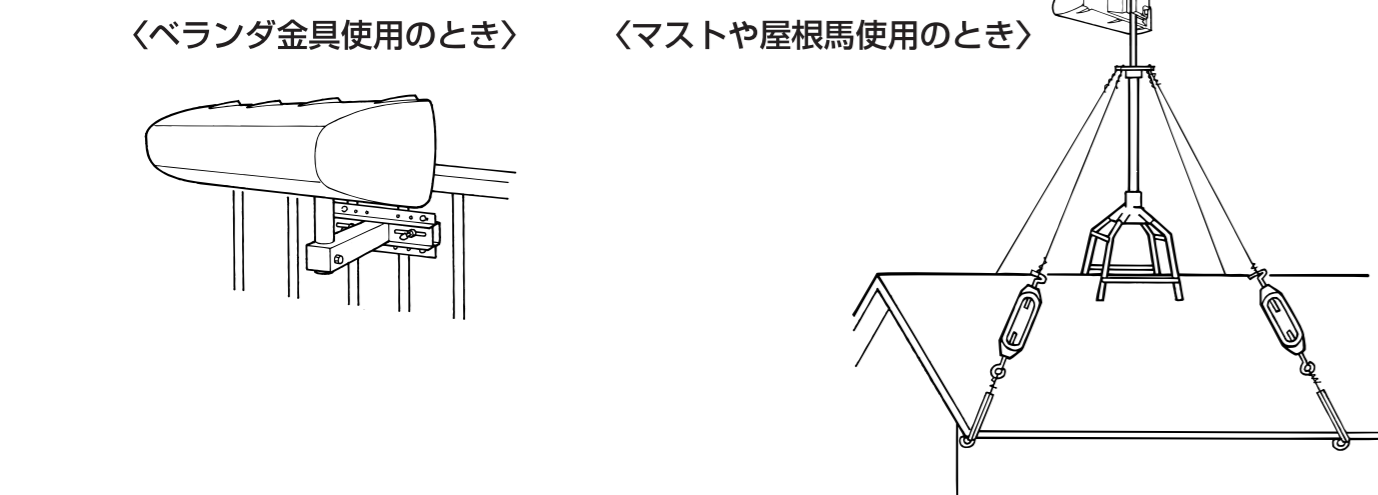
〈垂直偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が図の向きになるように取り付けてください。
（アンテナ本体の規格シールが上側）

（注）上下を逆に取り付けた場合、アンテナ内部に雨水等が溜まり、受信不良が起こったり、アンテナが破損することがあります。

アンテナの取付方法

- このアンテナは別売のベランダ金具（MHV-116など）を使用してベランダに取り付けたり、また別売のマストや屋根馬を使用して屋根の上に取り付ける事ができます。

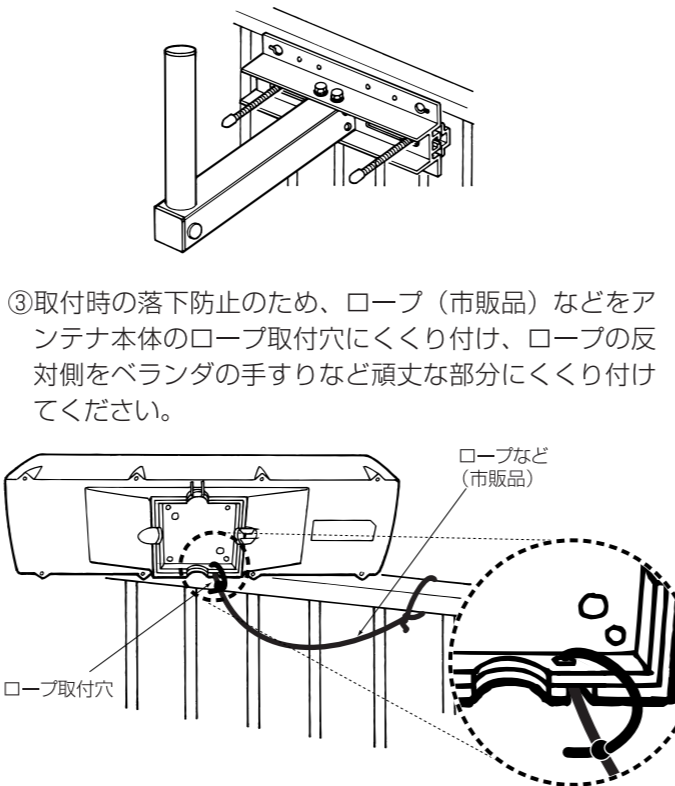
〈ベランダ金具使用のとき〉

〈マストや屋根馬使用のとき〉

〈別売のベランダ金具を使用する場合〉

①ベランダ金具にあわせて、あらかじめ取付ボルト（2本）をゆるめておいてください。
②ベランダ金具をベランダや壁面に取り付けてください。（取付方法はベランダ金具の取扱説明書をご覧ください）
- ベランダに取り付ける場合は、マスト径がφ22〜38.1mmのベランダ取付金具（別売）をご使用ください。

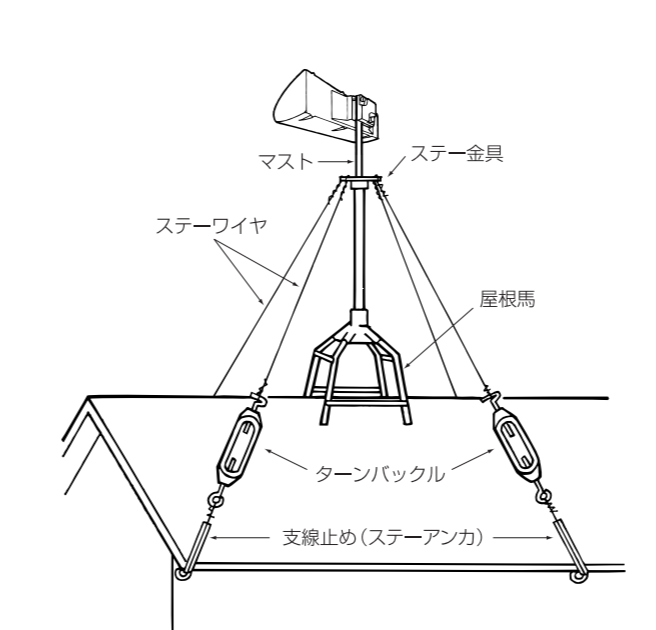
③取付時の落下防止のため、ロープ（市販品）などをアンテナ本体のロープ取付穴にくくり付け、ロープの反対側をベランダの手すりなど頑丈な部分にくくり付けてください。

〈屋根の上に取付ける場合〉

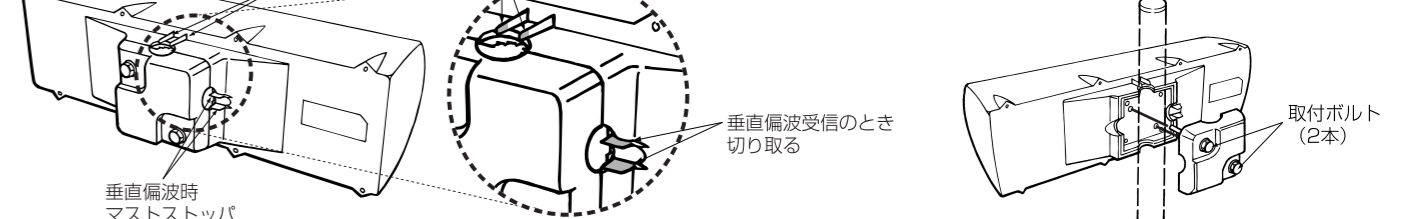
別売のマスト（MZ-120など）と屋根馬（MH-110など）を使用して屋根の上に取り付けることができます。
（注）屋根の上に取り付ける場合は必ずステーを3〜4方向に張ってください。ステーの設置には別途ステー金具（GRK-25Nなど）、ステーワイヤ（BW-30S-Bなど）、支線止め（SH-650など）などが必要です。

〈ベランダ金具またはマストへの取付け〉

マストの先端がアンテナ本体のマストストッパにあたるまで差し込み、プラスドライバ等で取付ボルトを締め付け仮固定してください。次ページの「使用例」を参考にアンテナ本体の方向を調整したあと、スパナ等で取付ボルトを締め付けてください。（締付トルク2〜2.5N・m）

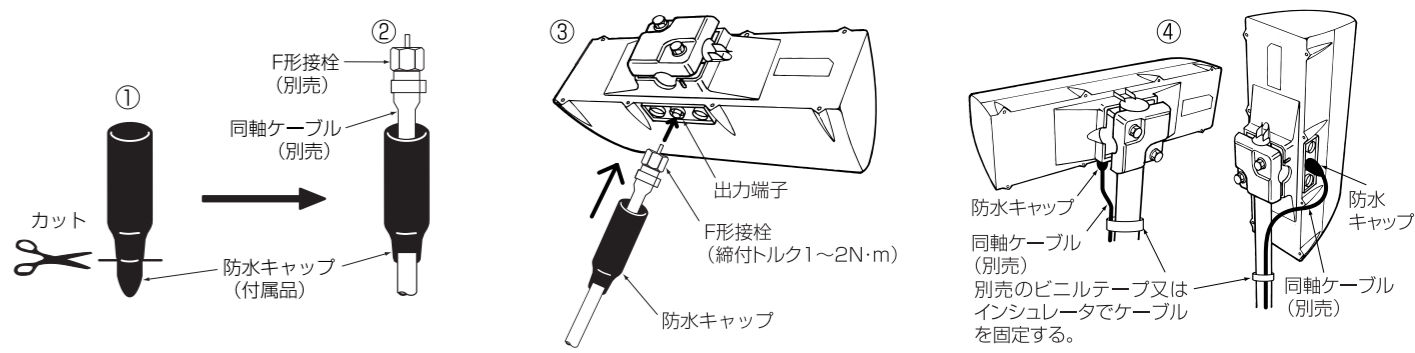
（注）2本の取付ボルトは均等になるように締め付けてください。

締付トルクとは、ネジを締める力の数値です。たとえば、スパナを用いてネジから10㎝のところで20N（約2kgf ）の力を加えたとき20N（約2kgf）×0.1m=2N・m（約20kgf・㎝）となります。

〈マストの中間に取付ける場合〉

①マスト取付金具のマストストッパをニッパなどで切り取ってください。

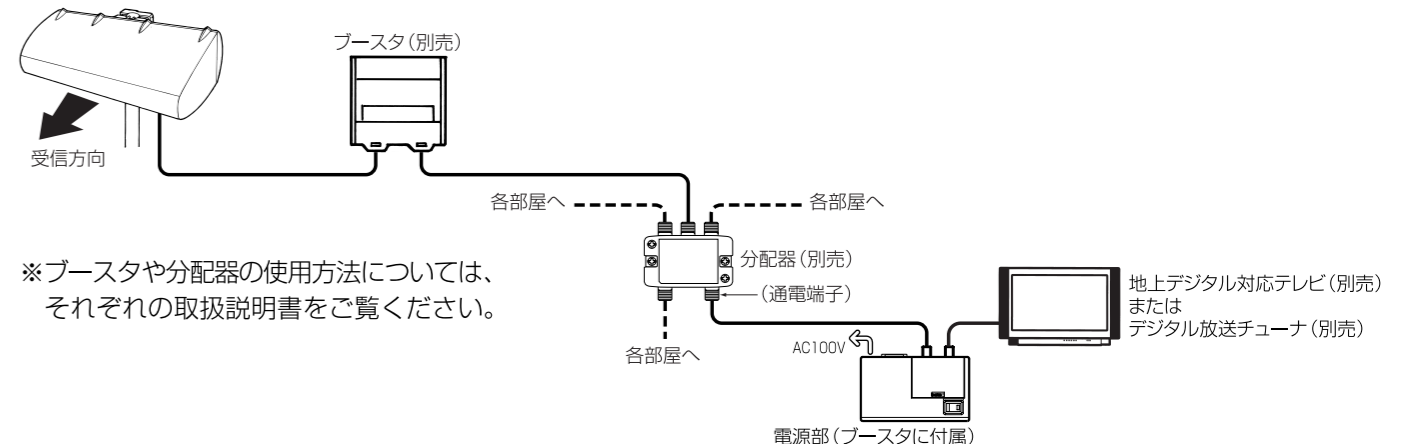
②取付ボルトをゆるめマスト取付金具をアンテナ本体から一度はずしてからマストに取り付けて仮固定してください。

③下の「使用例」を参考にアンテナ本体の方向を調整したあと、スパナ等で取付ボルトを締め付けてください。
（締付トルク　2〜2.5N・m）
※説明は、水平偏波受信のときのイラストで代表していますが、垂直偏波受信のときも同様にマストストッパを切り取ってください。

同軸ケーブル（別売）の接続方法

①付属の防水キャップの先端をケーブルの太さに合わせてカットし、同軸ケーブル（別売）に通しておいてください。
②同軸ケーブル先端にF形接栓（別売）を取付けてください。
（F形接栓の取付方法は、F形接栓の取扱説明書をご覧ください。）
③同軸ケーブルに取り付けたF形接栓をアンテナ本体下側の出力端子に接続し、防水キャップを奥まで差し込んでください。
④図のようにケーブルを固定してください。

使用例

①アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナまたはテレビのアンテナ入力端子を4C-FB、5C-FB等の同軸ケーブル（別売）で接続してください。
②地上デジタル放送チューナのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。（詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナの取扱説明書をご覧ください。）

※テレビによっては分配器が必要な場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

※別売のブースタや分配器を使用してホーム共同受信をすることができます。
（アンテナの受信レベルが十分にあることが必要です）

※ブースタや分配器の使用方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。